



全国サンマッシュ生産協議会

第29回

全国大会案内



高山の古い町並み



下呂温泉



世界文化遺産白川郷



神岡素粒子研究所



新穂高ロープウェイ



飛騨古川祭り・起こし太鼓



ひだホテルプラザ

日時 : 2015年1月27日～28日
場所 : 高山市民文化会館【総会・研修会・品評会】
ひだホテルプラザ【懇親会・宿泊】

第29回 全国大会開催のご案内

謹啓 日頃は当協議会の運営にご尽力とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

東日本大震災からはや3年半が経過しました。福島原発事故による放射能風評被害は会員の皆様の安全なしいたけ生産のご努力により少しずつ沈静化してきており、ようやくしいたけの消費や市場価格の回復が感じられるようになってまいりました。一方、今年には日本全国で予測不能な天災が猛威を振るっておりまして、2月の豪雪や8月のゲリラ豪雨、竜巻などの被害に遭われた会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

林野庁の統計によりますと、平成25年のしいたけの生産量は67,760t、前年対比で101.9%に増加しています。このうち菌床栽培が60,089tで前年比103.5%と増加しているのに対し、原木栽培は7,671tで91.0%と減少傾向が依然継続しています。この結果、菌床栽培の占有率は88.7%に高まっています。また、平成25年の主要卸売市場のしいたけの取扱量は39,067t（うち輸入量1,496t）で前年比93.6%と3年連続で減少しました。

本年1月～7月の市況を見ると、生産調整や市場外流通の増加により、国産品の市場取扱量は前年比94.5%に減少しており、この間の取引単価は1月を除き前年を上回って、1月～7月を通しての単価は前年比105.1%に上がっておりまして、昨年に引続き単価の底打ちが感じられます。また輸入品の市場取扱量については前年比67.1%に減少しております。

しかし4月の消費税増税による家計への影響、円安による電気代・燃料代、資機材・原料費等の更なる値上がり心配されており、しいたけ生産を取り巻く経営環境は今後も厳しい状況が続くものと考えられます。このような環境に立ち向かっていくには、我々会員にとって引き続き生産技術の向上と流通販売対策の構築が重要であり、次に掲げる三大方針を実践していくことが、全国サンマッシュ生産協議会の使命と考えます。

- ①「消費者に支持される安全安心美味しい商品づくり」
- ②「サンマッシュブランド化の推進」
- ③「青年部活動と消費拡大の推進」

この方針を積極的に推進するため、昨年青年部を立ち上げてシイタケの消費拡大を目的とした活動も開始しております。今後菌輪などで活動の報告を行ってまいりますので応援いただけますようお願いいたします。

第29回全国大会は岐阜県高山市の「高山市民文化会館」「飛騨高山温泉 ひだホテルプラザ」で開催いたします。岐阜県での開催は平成7年の第9回下呂大会に続き2度目となり、盛りだくさんの内容で皆様をお迎えいたします。

総会後の研修会では、『品種編』と『技術編』の2部制で収量・品質アップに貢献できる内容を準備しております。また、今年で2回目となるしいたけのレシピコンテストに加えてサンマッシュのイメージキャラクターコンテストを青年部が中心となって開催することになっています。

2日目は日本を代表するブランド「飛騨やまっこ」の高品質なシイタケ栽培者と世界的観光地高山を満喫できる視察コースをご案内いたします。今年で25回となる品評会は、ご自身の技術水準の確認にもお役立て頂けますので、選りすぐりの自信作の出品をお待ちしております。

会員が一丸となり、高山大会を通じて生産技術・品質・収量の向上と『サンマッシュ』のおいしさや安全性を全国にアピールし厳しい経営環境に打ち勝つため、会員の皆様がこぞって参加されますよう全国大会開催のご案内とともにお願ひ申し上げます。

謹 白

平成26年11月吉日

全国サンマッシュ生産協議会
会 長 森 坪 清 則

第29回 全国大会スケジュール

1. 日 時

平成27年 1月27日（火）午後1時30分～1月28日（水）午後1時頃迄
（受付開始 午前11時00分～）

2. 会 場

○総会・研修会・品評会

高山市民文化会館

〒506-0053 岐阜県高山市昭和町1-188-1

TEL0577-33-8333

大会会場 1 F 大ホール

品評会会場 3 F 講堂

○懇親会・宿泊

飛騨高山温泉 ひだホテルプラザ

〒506-0009 岐阜県高山市花岡町2-60

TEL0577-33-4600

懇親会会場 3 F 吉祥

3. 開催内容

(1) 開会式典

《1月27日午後1:30～2:50》

大会開会宣言

主催者挨拶

来賓祝辞

株式会社 北研

会 長

森坪 清則

社 長

川嶋 健市氏 他

(2) 通常総会

総会議事

平成26年度事業報告並びに収支決算の承認について

平成27年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の承認について

役員人事について

感謝状贈呈

(3) 栽培技術研修会

（株）北研 食用菌類研究所

《午後3:00～4:50》

1. 品種編

2. 技術編

3. 情報編

(4) 第25回品評会

《午後5:00～6:00》

1. 審査結果発表、表彰式

《午後5:00～5:20》

2. 出品物観覧

《午後5:20～6:00》

(5) しいたけコンテスト

1. しいたけ超簡単レシピコンテスト

※ひだホテルプラザ内で参加者の皆様に最終の審査をしていただきます。

2. サンマッシュイメーজキャラクターコンテスト

※大会案内に投票用紙が同封されています。事前投票にご協力下さい。

(6) 懇親会

《午後7:00～ 》

(7) 視察研修会

《1月28日午前8:00～ 》

【参加申し込み期限】

準備の都合上、出欠のご返事は12月26日（金）までに、同封の返信用FAX用紙にて事務局宛ご送付下さい。

視察地
紹介

生シイタケ 品質日本一の産地!

飛騨牛に飛騨やまっこ! 雪深い飛騨の地には美味しいものが盛り! 合掌造りの白川郷や古い町並みなど観光地としても有名な飛騨高山に行ってみませんか!!

産地概略

岐阜県は“飛騨地区”及び“美濃地区”に大きく分かれ、サンマッシュ栽培を行っている生産者は約150名。その内約3分の2が飛騨地区に所在しています。数名の周年栽培者を除きその多くがハウレンソウ、トマト等の夏期野菜の生産を主な農作業とし、シイタケの収穫期は晩秋～翌年の春先まで。豪雪地帯の冬期間の収入確保のために菌床シイタケ栽培を開始したのが二十数年前。603号や607号を使用して徹底した品質の向上を図っており、出荷先である京阪神市場・中京市場を中心に「飛騨やまっこ」として名高いブランドを確立しています。

A コース (視察のみ 午前コース)

ひだホテルプラザ⇒産地視察(飛騨高山きのこの里・(有)橋場農園)⇒グリーンホテル物産館⇒高山駅⇒ひだホテルプラザ(12時頃)

※自家用車で来られた方も視察に参加される場合は協議会のバスをご利用下さい。
※諸事情により自家用車で視察をされる場合は、駐車場の都合上「飛騨高山きのこの里」のみの視察となります。(有)橋場農園の視察はできません。

B コース (視察+観光 1日コース)

ひだホテルプラザ⇒産地視察(飛騨高山きのこの里・(有)橋場農園)⇒観光(白川郷合掌造り)⇒グリーンホテル物産館⇒高山駅⇒ひだホテルプラザ(15時頃) ※昼食は自由食

※自家用車で来られた方も視察に参加される場合は協議会のバスをご利用下さい。
※諸事情により自家用車で視察をされる場合は、駐車場の都合上「飛騨高山きのこの里」のみの視察となります。(有)橋場農園の視察はできません。

C コース (観光のみ 午前コース)

ひだホテルプラザ⇒観光(宮川朝市・古い町並み・高山陣屋)⇒グリーンホテル物産館⇒高山駅⇒ひだホテルプラザ(12時頃)



古い町並み



白川郷

<飛騨高山きのこの里>

品 種：北研 607-S 号、600 号、705 号、73 号 (夏期)

栽培方法：自然の上面栽培 (培養のみ空調)

従業員 16 名 取扱菌床数約 19 万菌床

かつては、夏期のハウレンソウとシイタケの複合経営を行っていましたが、現在は年間を通して菌床シイタケ栽培を専門に手掛けています。収穫後の生シイタケの包装を極力自動化し、全ての生シイタケを袋で出荷しております。過去には全国大会においてゴールデンサンマッシュ賞を受賞したこともあり、品質面でもこだわりを持った生産者です。



<(有)橋場農園>

品 種：北研 705 号

栽培方法：自然の上面栽培

従業員 25 名 取扱菌床数約 11 万菌床

夏期は主にトマトの収穫を行い、菌床シイタケは夏期こそ少なくなりますが年間を通して栽培しています。原材料となる原木の伐採から行い、キャップを用いて良好な菌床の製造を行っています。年間の雇用を最大限に活用するため、菌床の製造をはじめとしてトマトのジュース加工などに取り組んでいる非常に意欲的な生産者です。

